

「地方自治と住民」

挑戦問題 『広南校区内の課題を解決するための具体的方法を考える』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 協力・協働 感謝・貢献

期待される生徒の変容

地方自治に関わる情報を整理・分析する中で、自分たちの暮らす地域の課題を解決するための方法を調査する中で、将来の有権者としての自治意識を持つことが期待できる。

平成28年度の取組より

Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・なぜ、今までエアコンがつかなかったのか。だれも「つけてくれと言わなかったのかな」と思った。
- ・学校で使えるお金が少ないからだと思うので、教育費を増やしてもらえるようにしてほしい。
- ・呉市立なので呉市がつけてくれると思うが、あまり暑いとは思わないので、なくても構わない。
- ・自分たちで募金をして、そのお金でエアコンをつけてもらう。
- ・エアコンをつけてくれるように署名運動をして市長さんをお願いすればいい。



グループで情報交流する姿

After 【振り返りシートより】

- ・教育委員会などの学校に関わる部署をお願いをするために、理由などをちゃんと考えていく必要があることがわかった。
- ・近くにいる市議会議員は予算を承認したりする権限を持っているので、直接必要な理由とともにお願いする。
- ・市長や市議会議員の選挙をする時に、エアコンをつけてくれるという約束をしてくれる人に投票してもらう。
- ・他の市では住民投票で、エアコンを設置してくれるよう保護者達が要望していた。住民の権利として直接請求権を利用できることがわかった。



発表の準備をする姿

平成29年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

「エアコンを学校に付ける」という身近な課題を解決するために、自分たちにできることを考える中で、地方自治体の仕事としくみ、さらに住民の権利について、インターネット等を使って調べて、交流した。来年度は地域の中にある課題を挑戦問題とすることで、より身近なものとなるよう改善した。また、地域の人で実際に活動している方の取組をしっかりと聞き取り、自分たちの取組と比較させ、実社会における問題解決の方法を学ばせる。